

新幹線「高める」



山陽新幹線開業40周年・北陸新幹線開業
地域とともに、「安全・安心」で、「楽しい」新幹線の旅を提供していきます

山陽新幹線は、1972年の新大阪～岡山間の開業以来、西日本の各都市を結ぶ大動脈として、西日本エリアの経済発展を支え続け、2015年3月に全線開業してから40年を迎えました。新幹線の安全性・信頼性をさらに高め、競争力のある輸送サービスを提供するだけでなく、将来にわたる持続的成長のためには、地域の皆様との連携を強化していくことが重要であると考えています。

また、2015年3月に金沢開業した北陸新幹線では、当社グループの力を結集し、地域の皆様とも連携を深め、開業効果を最大限高めます。加えて、北陸エリアの魅力を最大限に引き出し、鉄道事業・創造事業双方の価値を高め、地域の活性化に寄与していきます。



取締役兼常務執行役員
鉄道本部副本部長
鉄道本部新幹線統括部長
吉江 則彦



‘15 3月14日 各駅での開業出発式の様子

山陽新幹線 将来にわたる当社グループの柱としてさらなる安全性・快適性の向上に着実に取り組んでいきます

安全 健全な設備・サービスの維持、自然災害への対応などにより、安全性と信頼性の一層の向上をめざします

逸脱防止ガードの設置

地震計の設置や耐震補強などと並行して、万が一車両が脱線しても大きく逸脱することを防ぐために、新大阪～姫路駅間に「逸脱防止ガード」を設置しています。今後姫路以西の必要な箇所にも順次設置していきます。



ATCシステム(自動列車制御装置)全面更新

車両性能に合わせて、自動で滑らかな減速を行うことができるシステムに移行し、乗り心地を向上させます。(2017年春、移行予定)

新型車両N700Aの投入

中央締結ブレーキディスク*1、台車振動検知システム*2などを搭載することにより安全性を向上させたN700Aを順次投入します。(2016年度末までに9編成保有予定)



防犯カメラの増設

さらなるセキュリティ向上を図るため、客室内およびデッキ通路部にも防犯カメラを増設します。(2016年度以降新製を予定している4編成への設置に加え、21編成について2016年度から2018年度にかけて改造工事を実施予定)

CS 車内環境やご案内の充実などにより、お客様から選ばれるサービスの提供をめざします

携帯電話通信サービス区間の延長

2015年9月現在、新大阪から新山口までサービスを提供中です。2015年度内に小倉～博多でサービス開始予定です。

車両動揺の低減による乗り心地向上



線路の状態を計画的に保守・管理することで、お客様の乗り心地向上に貢献しています。

海外からのお客様向けアプリを開発し全乗務員に導入したタブレット端末に搭載



海外からのお客様のご案内のために、4カ国語で情報提供できるアプリを開発し、全乗務員に導入したタブレット端末に搭載することでお客様案内に活用しています。

北陸新幹線 地域と連携し、開業効果の最大化に取り組んでいきます

北陸新幹線(上越妙高～糸魚川)はそれまで北陸本線で運行されていた特急列車と比較し、約3倍のお客様にご利用いただいています。また関西～北陸のご利用も昨年を上回る状況となっています。北陸新幹線開業で、北陸と首都圏の所要時間が大幅に短縮されたほか、関西～北陸・信越までのより広いエリアでの人々の流れを生み出し、都市間の交流拡大や地域経済の活性化、産業振興・観光誘発など大きなインパクトをもたらしています。

北陸新幹線の開業と2015年10月からの北陸デスティネーションキャンペーン(DC)*3の開催に合わせて、広域周遊観光促進のために地域と連携した持続的なコンテンツを提供します。

- 富山の世界遺産と国宝めぐりバス
- 三ツ星街道バス
- 恐竜博物館・奥越前めぐりバス
- 他のバス路線
- 花線のれん
- ベル・モニターニュー・エ・メール(愛称:べるもんた)



西日本ジェイアールバスをはじめとしたバス会社と連携し、観光地への二次アクセスを整えることで、お客様にさらに快適な旅を提供し、地域の活性化に貢献します

【開業による時間短縮】

(下り) 東京～富山:△66分(最速2時間8分)
東京～金沢:△83分(最速2時間28分)
(上り) 富山～東京:△63分(最速2時間8分)
金沢～東京:△79分(最速2時間28分)



豪雪地区では夜間に除雪作業車を稼働させ、線路上の雪を高架下の貯雪スペースへ除雪します



金沢と和倉温泉を結ぶ七尾線に観光列車「花嫁のれん」を運行し、「和と美のおもてなし」を再発見する旅を提供します



城端線・氷見線にデビューする「ベル・モニターニュー・エ・メール(愛称:べるもんた)」では「走るギャラリー」をコンセプトに、沿線の美しい景観を楽しむ旅を提供します

開業以来40年間で約24億人のお客様にご利用いただきました



山陽新幹線各駅で記念パネルを展示し、これまでの歩みや駅の開業当時の写真などを紹介

博多駅で「新幹線感謝祭」を開催



2015年11月、40周年を記念して、「新世紀エヴァンゲリオン」とコラボレーションした「500 TYPE EVA」を運転開始予定

©カラー



用語解説 *1 中央締結ブレーキディスク:ディスクブレーキのボルト固定位置を均等に配置することにより、ボルトとディスクに伝わる力が均衡し、強いブレーキ力を使用できるようにしている
*2 台車振動検知システム:全台車の状態を、振動センサにより常時監視するシステム

Voice 社外からの一言 JRと連携して北陸をPRし、地域の価値を高めていきます

南砺市長 田中 幹夫 様



北陸新幹線が開業し、首都圏だけでなく大阪や名古屋、海外からのお客様も増えています。長野の近さも実感しており、北陸の価値が高まりました。開業効果持続のためには、初めて来られた方が再訪され、近くの別のマチに来たいと思ってもらえるよう、各都市が連携しPRしていく必要があります。北陸DCはその好機となります。また、人口減少が進むなか、観光など交流人口に加え、貢献人口といいますが、南砺に思いがあり、地域貢献活動に参加するため都会から来るような人達を増やしたいと考えています。JRの影響力は非常に大きいです。コンセプト列車でも地元の井波彫刻の仕切りを使ってもらいますが、これが地域にとって何倍もの価値を生むことを期待しています。

コンセプト列車に使用される井波彫刻のイメージ(画像提供:南砺市)



用語解説 *3 デスティネーションキャンペーン(DC):JRグループと自治体、全国の旅行会社、観光関係団体や協賛企業が一体となって1つの地域の観光地の魅力向上、PR、送客に取り組む国内最大規模のキャンペーン